国際文化科って・・・

平成４（1992）年に設置された国際教養科の約 30 年にわたる取り組みを発展・深化させ、令和３年度より国際文化科としてバージョンアップします。

あなたも国際文化科で学びませんか。

旭高校　国際文化科のめざすもの

1　日本の文化や伝統への理解と関心を深め、世界の国々の文化や伝統を理解して尊重する態度を育てます。
2　外国の人々と相互理解を深めるため、コミュニケーション能力の育成を図ります。
3　海外から帰国した生徒や留学生と共に学ぶことによって、異文化に対する相互理解を深め、豊かな国際感覚を育てます。

長期留学生

年間３～４名　国際文化科のクラスに入って一緒に学びます。

これまでに迎えた留学生の国

- 平成２８年度　エストニア・タイ・ドイツ・アメリカ
- 平成２９年度　フィンランド・ドイツ・イタリア
- 平成３０年度　韓国・ドイツ・イタリア
- 令和　元年度　スイス・インドネシア・ドイツ
- 令和　２年度　ドイツ・フランス（予定）

２０１６年　アデレード高校（オーストラリア）と国際教養科３年生

旭高校 国際文化科の特色

普通科の内容はしっかり学習し、その上に、

1　語学教育の充実

①　二人の外国人指導助手（ＮＥＴ）が常に学校におり、授業を通して、生きた外国語を学び、豊かな国際感覚を育てます。

・国際文化科と普通科と英語関係の時間数に大きな差はありませんが、科目の内容や進む速さなど学び方は異なります。

②　コンピュータや英語学習ソフトなどの新しい教育機器等を用いて学習し、語学や基礎的な情報活用能力を高めます。

・CALL 教室があります。
CALL は、Computer Assisted Language Learning の略で、語学教育におけるコンピュータによる学習支援のことです。コンピュータを導入することで文字、音声、静止画、動画といった複数のメディアを統合的に扱うことができる学習環境が整っています。

③　中国語、韓国朝鮮語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、フランス語からひとつを第二外国語として学ぶことで、多言語・多文化に触れ国際的感覚を養います。

・各言語とも魅力ある専門の講師によって授業が行われています。

2　課題解決能力の育成

少人数編成による授業を行い、グループワーク、研究発表（プレゼンテーション）などを通して、自ら課題を見つけ、それを解決する能力を育てます。

3　国際的視野を持つ

さまざまな分野で活躍されている講師を招き、講演を聴いたり、いっしょに活動して国際的視野を養います。

２０１７年　林口高級中學（台湾新北市）と国際教養科２年生

これまでの多文化理解教育、多言語教育の主な取組み(例)

入学時
春休みの宿題で６言語（中,韓,独,西,伊,仏）をCD で聞き比べる（１年）

５月
台湾林口高級中學来校
国際理解の授業で交流（２年）

６月
JICA 研修員との交流
(ルワンダ、東ティモール等 17 か国 17 名来校)
（２年）

７月
JICA 関西訪問
青年海外協力隊員の講演、昼食は南ｱﾌﾘｶ共和国の料理（１年）

夏季休業中
・アイルランド語学研修
・オーストラリア語学研修（隔年）
（1,2年希望者）

9,１０月
オーストラリア、タイの姉妹校から隔年で来校
（１週間程度滞在）

１０月
台湾修学旅行３泊４日
楊梅高級中學と交流等
（２年全体）

１１月
レシテーション（暗唱）コンテスト
（１年全体）

１１月
スピーチコンテスト
（２年）

１１月・１２月
即興型英語ディベート
（３年）

１２月
第二外国語レシテーション（暗唱）コンテスト（２年）

１２月
英語落語
（２年または３年）

１月
インターナショナルフェスティバル参加
（校内コンテスト優勝者）

１月
日本ユニセフボランティア講演“こどもと武力紛争”（１年）

１月
韓国全南外国語学校来校、韓国語の授業で交流（２年）

＊インターナショナルフェスティバルでは大阪府立の国際関係高校１０校が一堂に会して、レシテーション、スピーチ、第二外国語の発表を行っています。

【国際理解】（テーマ例）
「グローバルな話題から国際理解を深める」
「生活と文化～日本と諸外国～」
「スピーチを通して世界の問題を考える」
「マザーグースから英詩創作へ」
「次世代に残したいもの：世界からなくしたいもの」

これまでの旭高校の多文化理解教育の取組みを

写真でランダムに紹介します

イギリス方面（アイルランド）語学研修

・2016、2018年 オーストラリアの姉妹校
アデレード校生来校

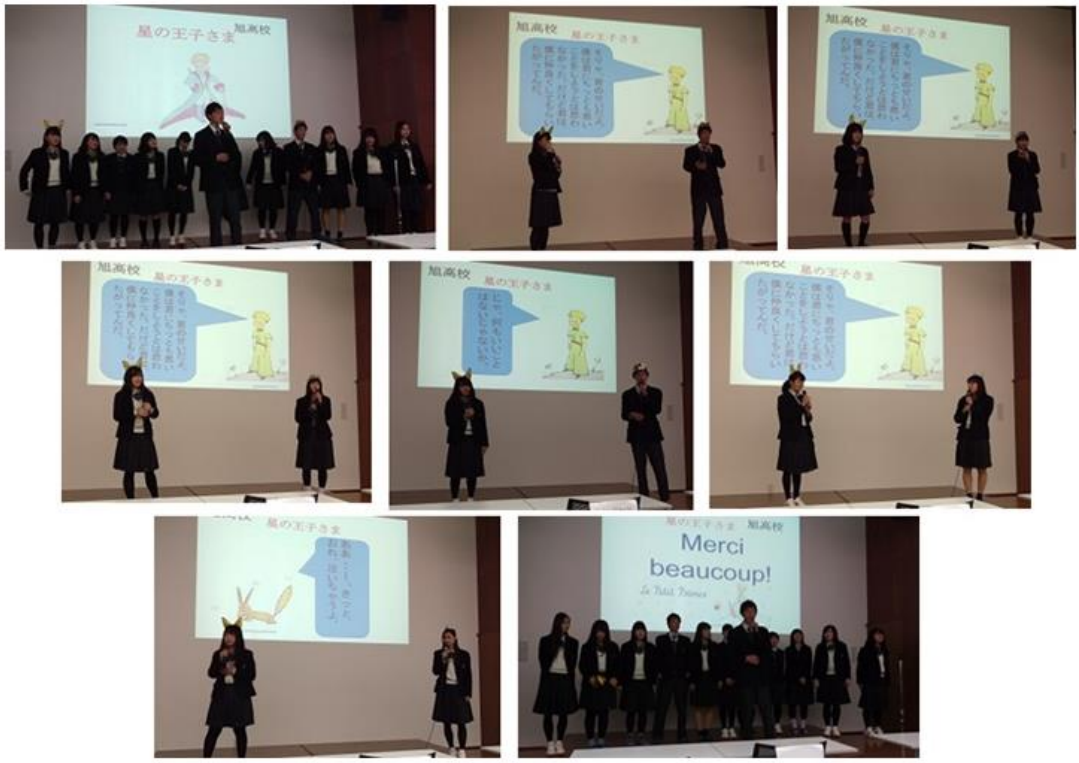
・2017年は本校生がアデレードへ

・2017年10月、タイの姉妹校生来校

International Festival
2018

レシテーション

スピーチ



第２外国語のパフォーマンス

国際教養科２年生　国際理解講演会　永崎さんをお迎えして

Menu

1　幸せって？
2　世界最高の「フィジー」とは？
3　なぜフィジー人は「幸せ」なのか？
4　僕たちが「より幸せ」になるには？

幸せは〇〇から生まれる

第16回エクステンション
高校生スペイン語スピーチコンテスト

本校生のスピーチの様子

大阪府教育庁主催　オーストラリア研修

即興型英語ディベート授業

国際理解　ドミニカ共和国での教育

ドミニカ共和国ってどこにあるの？　世界地図の真ん中に日本がない！

ドミニカの学校で日本の盆踊りを踊りました。ドミニカのダンスとぜんぜん違います。

インドネシア文化紹介（公演）

これだけの文化的道具を持ち込んでいただきました

まもなく開演です

総領事 Mirza 様のご挨拶

自己紹介に続いてガムランの紹介です

いよいよ影絵芝居のはじまりです

後半は人形を前で操作して芝居が続きます。両手両足を使って動作豊かにクライマックスを迎えました

休憩中にアンクルンが配られました

丁寧にスライドを使ってインドネシアの文化等を紹介していただきました

楽譜は音譜ではなく番号が並んでいます
音階が番号になっていて、アンクルンに番号があります

生徒は呑み込みが早く、楽しそうに何曲も演奏しました
後半は和音も入れて曲を奏で、歌もつけました

２０１８年　日本インドネシア国交樹立６０周年記念